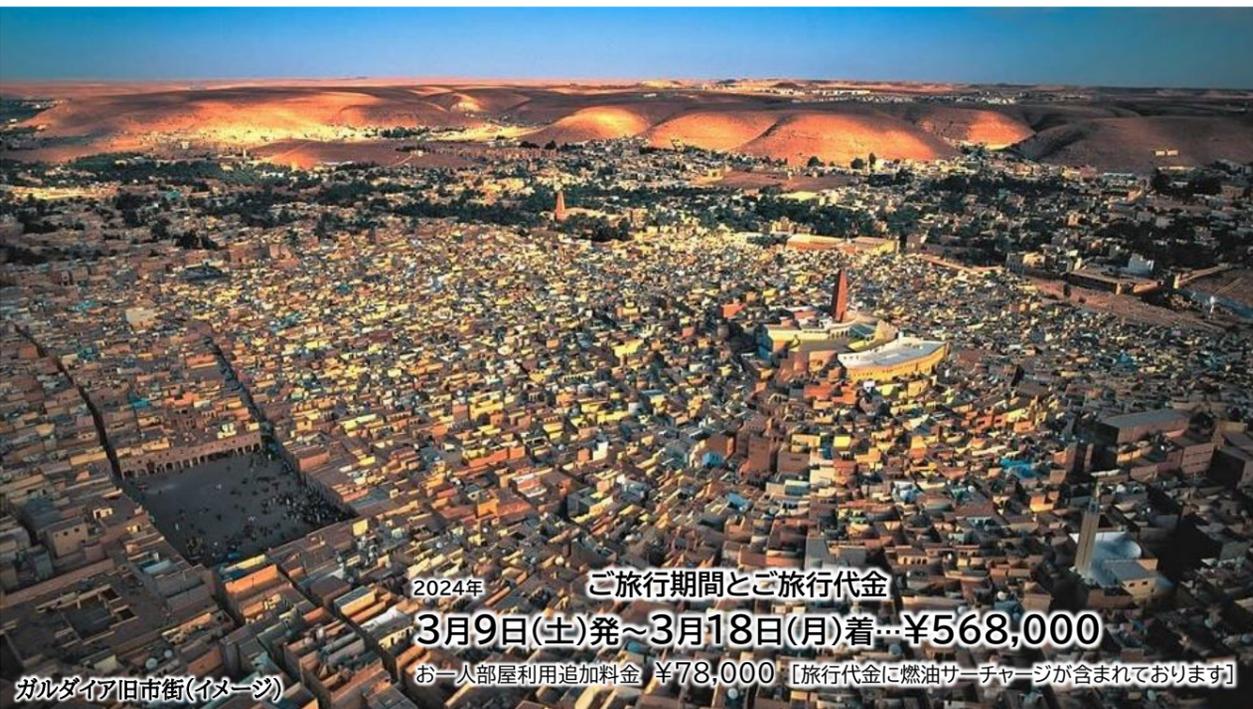


アルジェリア紀行 世界遺産ムザブの谷と望郷アルジェの旅



ガルダイア旧市街(イメージ)

2024年 **ご旅行期間とご旅行代金**
3月9日(土)発~3月18日(月)着...¥568,000

お一人部屋利用追加料金 ¥78,000 [旅行代金に燃油サーチャージが含まれております]

- 6つの世界遺産を中心に巡る、アルジェリア満喫の旅です。
- 移動距離の長いムザブの谷へは往復航空機を利用することで、快適な旅行が楽しめます。
- フランス風の街・コンスタンティヌ、オアシス都市ガルダイア、首都アルジェにそれぞれ連泊です。
- アルジェリアのツアーでも訪れる機会の少ないローマ遺跡が残るティディス、ゲルマに加え、独特な形の巨大なトラパーチンが見事なハラム・デバツホへご案内します。

世界遺産ムザブの谷

アルジェから南へ約450km、サハラ砂漠北部のムザブの谷では、ペーजूや象牙色、明るいつルコブルーに塗られた立方体の家々が、谷の中の5つの小高い丘を埋め尽くしています。夕暮れ時には、青く塗られた外壁が、より青みを深めて幻想性を増してきます。そんなムザブを愛した西歐人の代表がスイス生まれの建築家ル・コンピュジエです。彼はインスピレーションが枯渇するところを訪れました。キュビズム(立体主義)を建築に取り入れ、独自の建築を試みた彼の発想の原点は、このムザブのユニークな風景でした。

世界遺産に指定されたパステルカラーの5つの村、ガルダイア、エルアーティフ、プーヌーラ、ベニ・イスグエン、メリカを築いたのはベルベル人の一部族、ムザブ族でした。『コーラン』を厳格に解釈し、「イスラム教の清教徒」と言われた彼らは、イスラム世界では異端とされていました。主流派から迫害を受けた彼らは信仰の場を求め、流浪のすえに11世紀初め、この地にたどりついたと言われていました。

年間降水量が200mmという不毛で岩だらけの潤れ谷を、彼らは少しずつオアシスへと変えていき、井戸を多数掘り、高度な地下灌漑水路を通してナツメヤシなどの植林をしました。異民族や主流派の襲撃に備えて、要塞を築き、その中心にモスクを建設。住宅はモスクの周囲に同心円状に建てられ、家族数によって大きさの差はあるものの、平等の精神から、建材やデザインを統一。そして、どの家からもモスクのミナレットが見えるように街が造られました。ル・コンピュジエが愛したムザブの村々は、計算され尽くした中世の計画都市でした。

一つの村が飽和状態になると、隣の丘に別の村が造られました。こうして5つの村が建設され、さらに郊外にベリアーヌ、ゲラーラの2つの村が築かれました。

各村は曲がりくねった階段状の路地が迷路のように結ばれ要塞化しています。アルジェリアの多くの都市が侵入者たちの影響を受けたのに対し、ムザブでは他からの干渉を受けない、伝統的な生活を守りながら厳格な生活が残されました。

橋の町・コンスタンティヌ

元々、サリム・パティムの名で呼ばれていたヌミディア人の集落は、ギリシャの入植者の助けを借りて、紀元前3世紀頃に都市を意味するキルタと名称を変え、ヌミディア王国の首都となりました。その後、キルタは北アフリカでも有数の大都市となり、1万人以上の騎兵隊を持つまでになりました。しかし、ローマ帝国との戦争に敗れたヌミディア王国は、ローマ帝国に支配されましたが、立地的な重要性からローマ帝国の北アフリカ諸州の中でも特別な都市と考えられていました。その後、キルタは戦争によって莫大な被害を受けたので、313年に新しく再建され、皇帝コンスタンティヌス1世の名をとって「コンスタンティヌ」という名になりました。

のちにヴァンダル族、東ローマ帝国、アラブ人、オスマントルコ帝国に支配されていきますが、今では中世の町並みを残す古都として知られています。また、地形的な理由から4本の釣り橋が架かり、その中でも最も有名なシディ・ムシダ橋は、幅6メートル、長さ160メートル、高さは175メートルもある非常に美しい橋です。街のいたる所に撮影ポイントがあるので、写真好きな方にもおすすめです。



シディ・ムシダ橋[コンスタンティヌ]



ガルダイア[ムザブの谷]

6つの世界遺産を巡る

1. **要塞都市ベニ・ハマッド**...イラク産のタイルで飾られていた盆地の斜面に広がる中世の大交易地跡で、アルジェリア第2の大きさのモスクがありました。モロッコやスペインのいくつかのモスクのミナレットはこのスタイルを踏襲しました。
2. **ジェミラの考古遺跡**...そのローマ風の美しさにアラブ人たちが魅せられたカラカラ帝の都市遺跡で、ローマ風の大通りなどが残っています。林立する列柱は壮観です。
3. **ティムガットの考古遺跡**...良い保存状態で発見されたモザイクが美しく「アフリカのポンペイ」と呼ばれるトラヤヌス帝時代のローマ植民都市です。きめ細かい浮彫りが街の繁栄を伝えています。
4. **ムザブの谷**...現代のキュビズムに影響を与えた、パステルカラーの立方体住宅が密集する11世紀の5つの町は異次元の世界のようなイスラムの聖地です。
5. **アルジェのカスバ**...映画「望郷」の舞台、海賊「赤髯」が礎を築いたイスラム城塞地区は、エキゾチックな迷路の世界です。
6. **ティバサの考古遺跡**...アルジェリア最大のキリスト教聖堂が残るカルタゴ都市遺跡で、北アフリカで最も重要なキリスト教徒居住区でした。

ご旅行条件

- 募集人員/16名様限定
- 最少催行人数/8名様
- お食事/朝食8回・昼食7回・夕食7回
- 旅券残存期間/6ヶ月以上
- 査証欄/開き2ページ以上
- ※事前にパスポートをお預かりいたします。
- 査証用写真/2枚要(4.5×3.5cm)※スピード写真可/カラー写真のみ可
- アルジェリア査証料及び取得手数料/¥10,000(別途必要)
- 千歳・羽田空港使用料/¥4,430(別途必要)
- 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス [ご自宅~空港~ご自宅]
- ※大阪・福岡発着:千歳発着と同一料金
- ※成田発着:¥10,000引き

ご利用予定ホテル

- アルジェ/アズ・ホテル、イクラム、ハニ、ソルタン、オアシス
- セティフ/エル・ヒダフ、タジ・エル・ムアダ、イビス
- コンスタンティヌ/パノラミック、キルタ、ノボテル
- ガルダイア/レ・ロステミッツ、エル・ジャヌーブ、ル・ベルヴェデーレ
- ※上記ホテル又は同等クラスとなります。また、基本的にアルジェリアでは、バスタブは無く、シャワーのみが一般的となります。予めお含みおきください。
- ※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
- ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。
- ※表記の「○→」は「食事・機内食」を示します。×印の食事は含まれておりません。

都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳羽田ローマアルジェ	スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港 ■午前、日本航空にて、羽田空港へ[08:30発]。 ■午後、ITAエアウェイズにて、イタリアのローマへ[13:15発]。 ■着後、イタリア航空を乗り継ぎ、アルジェリアの首都・アルジェへ。 ■着後、専用バスにて、ホテルへ[00:15着]。 ☒・☒・☒ [機中泊]
2 アルジェベニ・ハンマード	■午前、中世の隊商路にベルベル人が築いた、11世紀に繁栄を誇ったハマッド朝の都、 世界遺産 ベニ・ハマッドの要塞都市遺跡 を見学いたします。マグレブ様式のモデルとなった高さ25mの大ミナレットなどをご案内いたします。 ☒・☒・☒ [セティフ泊]
3 セティフジェミラ	■午前、アラビア語で「美しい」という意味を持ち、遺跡の保存状態の良さでも知られる 世界遺産 ジェミラ遺跡 (セプティミウス・セウェルス神殿など)をご案内いたします。アルジェリアで最も美しい遺跡です。 ■午後、アルジェリア最大のローマ遺跡でモザイクが美しい「アフリカのポンペイ」と讃えられる 世界遺産 ティムガット遺跡 (トラヤヌス帝の凱旋門、3500人収容の円形劇場など)へご案内いたします。 ■夕刻、アルジェリア東部の中心地でフランス風の街・コンスタンティヌへ。 ☒・☒・☒ [コンスタンティヌ泊]
4 (ティディス)コンスタンティヌ	■午前、丘の斜面に築かれた広大なローマ遺跡・ ティディス遺跡 へご案内します。 ■午後、コンスタンティヌへ戻り、 コンスタンティヌで最も美しいシディ・ムシダ吊り橋 や、ヌミディア時代の墓標などを展示するコンスタンティヌ博物館へご案内します。 ☒・☒・☒ [コンスタンティヌ泊]
5 (ゲルマ)(ハラム・デバツホ)コンスタンティヌ	■午前、ゲルマにて、ほぼ完全な形に修復された ローマ時代の円形劇場 を見学します。 ■その後、ローマ時代から温泉が湧き出る場所として賑わったハラム・デバツホへ。着後、炭酸カルシウムの影響で成長した 巨大なトラパーチン がご覧いただけます。 ■夜、航空機にて、11世紀にイスラム教の清教徒のムザブ族が築いたサハラ砂漠の理想郷、ムザブの谷の観光拠点となるオアシス都市・ ガルダイア へ。 ☒・☒・☒ [ガルダイア泊]
6 ガルダイア[ムザブの谷]	■午前、ピラミッド型のパステルカラーの街並みが不毛の谷に突然と現れる 世界遺産 ムザブの谷の集落 を観光します。ムザブの谷はベルベル人の一部族で流浪の民と呼ばれるムザブ族が築いたイスラム教に厳格な村々です。特に宗教的な制約の厳しいベニ・イスグエンは彼らの聖都であり、20世紀最大のスイス人建築家ル・コンピュジエが絶賛した基盤状に並ぶ独特な白い短形の家並みをご覧いただけます。また、メリカ村のシディ・アイサの墓、ガルダイアの市場などへご案内します。 ☒・☒・☒ [ガルダイア泊]
7 ガルダイアアルジェ	■午前、航空機にてアルジェへ戻ります。 ■着後、アルジェ市内観光(アラブ的な雰囲気のある小さな軒が密集する迷路のような 世界遺産・アルジェのカスバ 、「アフリカの聖母」の意味を持つノートルダム・ド・アフリカ大聖堂、フランス映画「望郷」の舞台として有名なアルジェ港)。アルジェはフランス時代に建てられた青いバルコニーが優雅に続く南欧風の街並みです。 ☒・☒・☒ [アルジェ泊]
8 アルジェ(ティバサ)(シエルシエル)	■終日、アルジェ郊外の観光へ。いまだ謎に包まれたままの モーリタニア王家の墓 、紺碧の地中海を望むフェニキアとローマ時代の繊細な装飾が伺える都市遺跡 世界遺産 ティバサ (アルジェリア最大のパシリカ式聖堂跡、円形闘技場、カピトリウム神殿など)、シエルシエルの古代水道橋をご案内いたします。 ■昼食は地中海のシーフードです。 ☒・☒・☒ [アルジェ泊]
9 アルジェローマ	■午前、ホテルをゆっくりと出発し、専用バスにてアルジェ国際空港へ。 ■午後、出国審査ののち、ITA エアウェイズにて、ローマを経由し、帰国の途へ[12:05発]。 ☒・☒・☒ [機中泊]
10 羽田千歳	■午前、羽田空港到着[11:20着]。入国審査・税関検査ののち、日本航空にて千歳へ。 ■午後、千歳空港到着後、解散[16:00着]。 スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅 ☒・☒・☒



ジェミラ遺跡



アルジェ

中東・アフリカ
北南米
アジア
ヨーロッパ
国内
その他

中東・アフリカ
北南米
アジア
ヨーロッパ
国内
その他